

# 大館の歴史散歩

## 郷土博物館の展示紹介⑩

### 小野儀助の日記



大館の呉服店「マルコ」の主人小野儀助が残した明治二十年から三十一年までの日記（和紙に筆で書いたもの）九冊が展示されています。

儀助は、田地二十町歩を小作させていた地主でもあり、明治期の大館を代表する実業家の一人でありました。また、時代は文明開化

とはいっても秋田県内にまだ汽車が走っていないころのこと、儀助は明治五年、八年、十七年、二十七年、三十年と五回も関東、関西を旅行して見聞を広めた、当時のいわゆる文化人でもありました。

さらに儀助は俳人でもあり、松涛庵月香と号し、全国的な梅黄社の句誌に秀嶺という別号で投稿した句が天地人の賞の中でも一番よい天に入選した実績もあります。

この日記は生糸、反物の商取り引きなど商売のことははじめ、戊辰戦争の戦後処理や大館から東京までの徒歩旅行、知人・友人との交遊、家族や出入りの人の動静、冠婚葬祭、医療、米価、鉄道敷設、大館中学校建設のことなどが書かれています。また、世情の雑録から四季の移り変わりにいたるまで広範にわたり細密に記述されており、明治前期から中期の生き生きとした様子を知ることができる貴重な資料です。九冊の日記に登場する人物は、実に七百人を超え、忘れかけている有名、無名の懐かしい人の名も文中のどこどこに見つけることができます。

この日記は、昭和四十九年ごろ小野家から大館市に寄贈されたものです。

大館郷土博物館

※大館市史編さん委員会が発行した「小野儀助日記」一巻から三巻までを欲しいかたは実費でお分けします。

## 大館の方言講座

### 労働に関することば

アギマ、アガマ：ひま、余暇  
エバル：鉄で土を起し畝をつくること。

マルギ：稲や草を一定の量にたばねたもの。

マニヨ：6尺ほどの棒に穂先を内にして絡ませかけることにより、稲の乾燥をする。

ヨイコ：相互扶助のこと、農繁期などに労力共助すること。

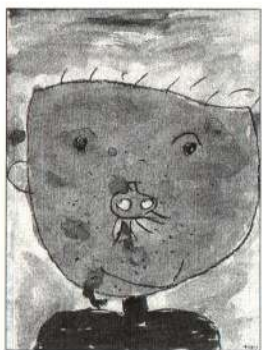
ヨナガ：農作業の不良、特に稲の作柄の不良。

### 「大館市史」から

## ちびっ子ギャラリー おじいちゃん



高山ゆうすけくん  
かけっこしたらおじいちゃんより僕の方が速いんだ。



金田いずみちゃん  
おじいちゃんと一緒に長木川で白鳥に餌をあげるんだ。



田中たかひろくん  
一緒にかくれんぼして遊んでくれるおじいちゃん大好き。

## 向陽幼稚園

## おおだてがヒント

広報

### クイズ

#### ▽問題

- ①米代川流域ちびっ子チャレンジフェスティバルはいつ?
- ②社会福祉事業団職員採用試験の一次試験はいつ?
- ③市民読書感想文の高校生の部で最優秀作となったかたのタイトル名は?
- ④10月16日号のクイズの応募総数は何通?
- ⑤10月中の大館市での交通事故件数は何件?

#### ▽締め切り

11月25日(火)当日消印有効  
※正解者の中から抽選で5人に、テレホンカード(秋田犬)を贈ります。

#### ▽応募方法

はがきに住所、氏名、年齢

性別、答え(例①-②-)を書いて応募ください。また、日ごろ感じていることなども記入ください。

#### ▽応募先

〒017 大館市字中城20番地

#### ▽10月16日号の答え

- ① 11月1日
- ② 市内の花屋さん
- ③ 大館樹海ドーム
- ④ 10月1日
- ⑤ 図書券

#### ▽10月16日号の当選者

- ・安田伸子さん(南神明町)
  - ・富樫トモ子さん(水門町)
  - ・石田カヨさん(中神明町)
  - ・河田マサ子さん(旭ヶ丘)
  - ・斎藤美和さん(御坂)
- ※応募総数56、全問正解数45